

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

災害に備えてしっかり準備

石巻赤十字病院の石井正さんを招き防災講演会

柳川山門医師会は水の郷で10月6日、東日本大震災の被災地、石巻赤十字病院の石井正外科部長を招き防災講演会を催しました。公演には災害発生時の参考にしようとして市内外から約250人が参加。石井さんは「してて良かった準備、しとけば良かった準備」と題して、震災後の対応や課題について講演。患者を受け入れることができる病院が近くにあるのに正確な情報が伝わらず、数か所の病院に負傷者が集中したことを報告。日ごろから情報伝達方法を整理しておくことが大切と訴えました。



講演する石巻赤十字病院の石井外科部長

きれいな参道で新大関を迎えよう

市民栄誉賞授与式を前に三柱神社を清掃

大関琴奨菊の柳川市民栄誉賞授与式を2日後に控えた10月13日、式の会場となる高畑公園に隣接する三柱神社の参道を、高畑地区の住民約50人が清掃しました。これは同地区の区長会が、きれいな環境で新大関を迎えようと提案し、住民の協力を得て実施したものです。参加者は、ほうきやかまなどで参道の落ち葉やごみを集めたり、へこみを砂利で埋めたりしました。同地区の区長会長の原勝記さんは「久しぶりの日本人大関誕生を住民をあげてお祝いしたい」と話しました。



参道を清掃する高畑地区の皆さん

豊作を願って

有明海でノリの種付解禁

10月14日、ノリ養殖の種付けが解禁されました。種付けは、水温がノリの生育に適した24度を下回ると解禁されます。

当日は夜明け前から、ノリの胞子が入った袋を結び付けた網を載せた漁船が次々と出港しました。漁業者たちは、漁場に着くと小回りができる箱舟に乗り換えて、赤や緑などあざやかな色の網を、小間と呼ばれる支柱の間に手際よく並べました。ノリの胞子は約1か月で成長し、11月中旬には初収穫の見込みです。



箱舟から小間の間に網を張る漁業者

まち歩きで秋の柳川を感じた

柳川菊の節句～秋のふれあいまち歩き～

秋の柳川を堪能してもらおうと、10月8日から16日まで催された柳川菊の節句。ジャズライブや柳川の伝統行事「愛嬌挨拶」に合わせて協賛店舗のおもてなしを受ける愛嬌挨拶柳川めぐりなどが開かれました。三柱神社境内で23店舗が出店した柳川骨董市には、骨董品や農産物などが所狭しと並び、品定めをする人も。また期間中は、おにぎえや琴奨菊の水上パレードと重なり、たくさんの人でにぎわいました。



骨董市では品物が並び多くの人でにぎわった

合唱や演奏で観客を魅了

平成23年度柳川市中学校音楽発表会

市中学校文化連盟は10月17日、市民会館で中学校音楽発表会を開催しました。午前には創作コンクールやリコーダーアンサンブルコンテストの金賞受賞者の演奏や合唱、午後には吹奏楽の演奏が披露されました。合唱では5校の1年生が順番にステージに上がって、見事な歌声を披露。また吹奏楽では、6校がテレビドラマや映画などの音楽を演奏し、会場から大きな拍手が沸き起こりました。



柳城中1年生が見事な合唱を披露

水も人もキラリ 川柳

水も人も
キラリ

川柳

今月の入選作品・課題「呼ぶ」

呼び出しの琴奨菊の声高し

佐田輝喜（明野）

この頃心を一つにという機会が少なくなった。それでもそんなに遠くない昔にはあった。子供の遊びにもそして田植えや祭りなど身の回りには「心は一つ」があった。ところが「琴奨菊」の大関昇進は一気に柳川市民の心をついにした。もつと言えは「全国民の」と言ってもよい。久しぶりの明るい話題である。 流青

- | | | |
|------------------|-------|--------|
| 母を呼ぶ若き特攻空に散る | 甲斐田園一 | (吉富町) |
| 彼岸花炎と燃えて母を呼ぶ | 江口美雪 | (今古賀) |
| 向う岸金木屋が呼んでいる | 鶴岡定子 | (東蒲池) |
| 夕暮れの空に在りしか母を呼ぶ | 田中位緒枝 | (豊原) |
| 朝ドラが時間ですよと呼びに来る | 佐藤良子 | (蒲生) |
| おふくろといつしか変り我が呼び名 | 古賀幸子 | (横山町) |
| 野の花がおいでおいでと呼ぶ日和 | 吉開綾子 | (筑紫町) |
| 母の名を呼べば天から降りてくる | 横山保 | (徳益) |
| 転寝の夢で呼ばれて目を覚ます | 砥上征夫 | (鷹ノ尾) |
| 琴奨菊千の声呼ぶ祝い舟 | 日高貴美 | (矢留本町) |
| おさな名で呼ばれ若やく八十路過ぎ | 黒田和代 | (吉富町) |
| 呼ぶ音色虫たち恋の夜長かな | 西田トミ子 | (中島) |
| 舟みちの萩に呼び止められた気が | 古賀麗子 | (吉原) |
| 夕餉だよ母呼ぶ声よ遠き日よ | 野片義博 | (隅町) |
| 一直線飛行機雲は雨を呼ぶ | 江口和子 | (今古賀) |
| 幸福を呼ぶと言われる耳を持つ | 梅崎省二 | (佃町) |
| バナナ売り人呼ぶ所作に吸い込まれ | 池田美幸 | (佃町) |
| ドロツクドン子供囃子が月を呼ぶ | 重松秀秋 | (椋屋町) |
| 初恋の人の名を呼び夢醒める | 大橋弘茂 | (百町) |

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。12月の課題は「米」です。入選作品は12月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報係（☎77・8425、FAX74・5520）へ、11月15日（※必着）までにお送りください。

一日に二合の米で足る暮し

流青